



# 碧南ロータリークラブ週報

第2199回例会 平成15年11月12日(水) 晴. 最高19.8℃. 最低10.2℃

- 会長 加藤 良邦 ● 幹事 竹中 義雄 ● SAA 杉浦 成人
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 竹下 豊・新美惣英・鶴田光久・杉浦昌裕

2003~2004年度  
国際ロータリーのテーマ  
**手を貸そう**



Lend a Hand

## ● 斉 唱

ロータリーソング「我らの生業」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

愛知県里親連合会 副会長 細川明代様



## 会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。本日は久しぶりに秋晴れになりました。

今、あちこちの本願寺さんのお寺で開祖親鸞上人の忌日法要「報恩講」が勤まっています。私共浄土宗も2月頃に宗祖法然上人の忌日法要「御忌会」を勤めますが、そういう大きな法要の時には布教師をお招きしてお説教を勤めていただきます。

私共の総本山でございます京都誓願寺の第55代管長に安楽庵策伝上人という方がおられます。戦国時代を生きられた策伝上人は布教に熱心な文人で、庶民に面白おかしくお説教を勤められました。このことから誓願寺は落語発祥の地といわれ、毎年10月に行われる策伝上人の忌日法要「策伝忌」には今でも著名な落語家もお参りに来られるということです。また、策伝上人が勤めたお説教の内容をまとめた「醒睡笑」という本は今の落語界のいわゆるネタ本にまでなっており、現在、誓願寺で月に一度開催されている「ピーチク亭」という会は、関西の若手落語家たちの登竜門になっているそうです。

私も実は学生時代に布教師になる勉強をしたことがありました。またの機会に「私の布教師さん落第の記」をお話させていただきたいと思います。

ありがとうございました。



## 幹 事 報 告

例会等の変更につきましてはお手元の資料の通りでございます。よろしくお願ひします。

先日11月8・9日でウエスティン・ナゴヤキャッスルホテルで地区大会が開かれました。29名のご登録をいただき、大変大勢の方に出席していただきありがとうございました。

先週の例会が終了後、第5回定例理事会が開かれました。その内容についてご報告します。

45周年の実行委員会も開催させていただきました。青木幹事より後でご説明いただきます。

- ・10月の収支について、原案どおり承認されました。
- ・例会変更について、12月の第1例会が毎年、年次総会ということになっており、12月3日になりますが、この日会長のご都合が悪いということで、1週間ずらしまして、12月10日にさせていただきます。
- ・万博の協賛金について、先日ガバナー公式訪問の時にお話を頂きました。一人当たり今年度7千円の増額ということに決定しました。
- ・国際大会の登録について、来年5月23日～26日に大阪で国際大会が開かれます。国際奉仕委員会の設営をしていただいて、募集に入りました。皆さん是非出席していただきたいと思います。後で国際奉仕委員長からお話があります。
- ・共同募金の件、例年どおり7万円の募金をさせていただきました。
- ・ライラセミナーが来年開かれます。新世代委員会が担当されますが、出席者について、杉浦功哲君のお嬢さん杉浦亜里砂さん、竹中誠君のお嬢さんの竹中知恵さんに決定しました。

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数 75 名 (内出席免除者 14 名) 出席者55名	
出席対象者 45/61名	出席率 73.77%
欠席者20名(病欠者0名)	前々回修正出席率 98.36%

### 〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

- 岡島淳一君 久し振りの出席となります。
- 井上達夫君 11月8日・9日の第12回市民ふれあいフェスティバル盛況に終わりました。  
(副実行委員長を勤めました。)
- 加藤良邦君 11月8日・9日地区大会多数の方々にご出席を頂き有難うございました。
- 原田達八君 孫が生まれました。
- 竹中義雄君 先日の地区大会、多くの方々にご出席頂きまして、有難うございました。
- 杉浦功哲君 子供がライラセミナーでお世話になります。
- 加藤知彦君 文化財展、伊勢からの「渡海佛」展の取材を先刻K A T C Hから受けました。  
本日夕6時からのニュースで放映されます。文化財展は14日(金)までです。
- 竹中 誠君 子供がライラセミナーでお世話になります。
- 岡本明弘君 11月8日(土)南中学校「第6回トイレ掃除の会」で、竹中義雄さん、犬塚敦統さんに大変お世話になりました。有難うございました。
- 早退7件 合計25,000円

### 〈国際奉仕委員会〉

お手元にパンフレットが配布されています。「2004年O S A K Aで世界と出会おう」と印刷されたパンフレットが1枚、「国際大会登録について」という黄色い用紙が1枚、「国際大会のご案内」という緑色の碧南ロータリクラブの申込書が1枚、計3枚あり、来年2004年5月23日～26日までロータリーの国際大会が、日本で実に26年ぶりに大阪で開催をされます。世界各国から4万人のロータリアンが関西に集まりまして、国際交流の最大のイベントが行われます。碧南ロータリークラブは、5月23日日曜日の開会式、5月24日月曜日の第2本会議、この2日間1泊2日で参加を予定をしています。参加費用は、登録料がロータリアン一人300ドル、約35,000円位、ロータリアンと奥様二人で400ドル、宿泊料はだいたい15,000円程度と予定をしております。交通費は新幹線又はバスで、15,000円程度を予定しています。参加ご希望の方は「国際大会のご案内」という用紙が申込用紙になっています。11月26日(水)今月の第4例会までに事務局の方に申込書を提出して頂きたい。多数のご参加をお願いします。

## 〈45周年実行委員会〉

実行委員会で話されていることを伝達していくということは、とても難しい状況にあります。

今からは皆さんに全員で徹底していくような方策を考えていきたいと考えております。

概略を申します。絵でいいますと、大きな輪郭が画けて、部分的にはかなり細部にデザインがいたっている。この後は着色したり、もう少し修正したりという仕事が残るかと思いますが、かなり具体的に出来上がってきたと報告出来ると思います。

各委員長さんをお願い申し上げます。今月中に今までの決定事項を委員会毎にまとめて、文書で提出して下さい。それを綴じた物をレジメとして全員に配布申し上げます。12月第2回例会にはそれを配布しまして、45周年こんな事を行うんだなということを全員に認識していただく。そんな準備をしていきたいと思っております。

1月に幸いにも例会に30分頂けます。この時間に具体的に各委員長さんからの説明をうけて、当日自分がどんな役割があるのか、あるいはどこにどんな状態に自分がいるのか、その1日を詳しく認識出来るようにしていきたいと思っております。そしてまだ記念品等につきましても若干検討してもらっているところもありますが、いまのところそういうことで概略は決まりつつあります。

2月に入りますと式典に関しましては、実際時計を持ってリハーサルを一度やってみたいと思っております。総合司会はたぶんここに控えております小笠原良治君が担当すると思っております。うまくアシスタントと息が合うかどうか、そんなトレーニングも必要ですので、リハーサルを一度やってみようと思っております。

最後に重ねてお願い申し上げます。今月中に各委員長さんが把握できていない部分はリーダーさんにお聞きしながら、レポートにまとめて出してください。それを1冊にまとめて全員に配布します。宜しくお願いします。

## 卓

## 話

### 里子と暮らして

ロータリークラブの皆さま、こんにちは。細川と申します。さきほど紹介いただいたように常滑市で里親をやっています。

私たちが、血のつながらない子どもたちと関わるようになってから14年が過ぎました。今は17歳、15歳の姉妹、8才の男の子の3人の里子と暮らしています。この3人は長期養育の子どもたちで、それぞれ2～3歳の頃から家で生活しています。その他に短期の子どもたちを受け入れてきました。私たちに実子が一人いますが、結婚して別に住んでいます。

皆さんは里親という言葉を知ることがありますか。里親といえば犬、猫の里親探しなどといって新聞などでも見かけることがあります。試しにインターネットで「里親」で検索しますと、たくさんできました。犬、猫に始まりハムスター、ウサギはては金魚にまで里親をさがしています。もっとひどい例は海や公園を里子として里親募集を行政がしているところもあります。その中で人間の里親はわずか5件でした。

先週金曜日夜9時から2時間スペシャルとして、里親家庭がモデルのドラマがありました。番組欄に東京都都知事、厚生労働省推薦と書いてありましたし、番組の最後に都知事が挨拶されていました。若い子に人気のあるジャニーズ事務所の人気タレントが里子役になっていたり、これはすごい宣伝効果があったと思っております。

里親制度について少し説明させていただきます。親に何らかの事情があって子どもを育てられ



ない場合、二つの選択肢があります。施設養護と家庭的養護にわかれ、里親は家庭的養護に位置付けられています。施設には、0歳児から2歳までの乳児院と、2歳以上18歳までの養護施設とがあります。お配りした資料を見ていただくとわかると思いますが、里親には4種類あって、養育里親、親族里親、短期里親、専門里親に分類されています。養育里親は親が育てられるまで、あるいは18歳まで、わりと長期間養育する里親で、子どもと戸籍上の親子になる養子縁組もこの中に含まれます。親族里親というのは昨年からできた里親で3親等内の親族がなれますが、実親が行方不明か拘禁の場合に限られます。短期里親というのは文字通り短期、大体1年ぐらいの期間預かる里親で、親の病気、けがなど親の養育にあまり問題のない家庭の子どもです。最後の専門里親というのは、これも昨年新しくできた里親で、主に虐待を受けた難しい子どもが対象です。今全国には7,372人の里親がいます。愛知県では200人ちょっとです。名古屋市はこの中に入っていないませんが、名古屋市を含めても250人程度でしょうか。これが昭和30年代里親数19,000人以上、委託里子数9,618人いたのです。それが今では、里親の数は半分以下、里子の数に至っては4分の1にも満たない数になっています。じゃあ少子化で施設に入所している児童も少なく、施設は職員の給料も払えない状態なのかといいますと、今全国的にどこの施設も定員一杯で中には定員オーバーしている施設もあります。施設に入所している子どもは約3万人と言われています。そして今も増え続けています。特に愛知県は総人口に対して施設の数が少ないそうで、乳児院は3箇所しかなく児童相談所の職員は乳児の養護の相談があると、必死に預け先を探していますが、施設も一杯、里親も少ない状態で綱渡りをしているようだといった福祉司さんがいました。

なぜ今養護児童が増えたのかといいますと、虐待で保護されるケースの増加です。私たちが里親を始めた平成元年ごろは、虐待の子どもはほとんどいませんでした。親の離婚、行方不明、疾病、貧困などが主な理由でした。平成7、8年ごろから、虐待ケースが毎年増え続け、平成12年には虐待防止法ができました。そのため地域の人、保健センター、保育園などからの通報が多くなり、保護される児童が増えてきたためですが、それでも年間100人近くの子どものが、親によって殺されています。虐待死のワースト1は愛知県です。人口の多い東京都よりも多いんです。

昨年、やっと国が動き出し、里親制度も一部改正されたり、マスコミでも取り上げられるようになりました。愛知県でも昨年研修会を3回ほど開催し、里親募集に力を入れました。その効果があったのか、今までは年間の登録者が2～3名だったのが、昨年は38名もの新規登録の方が増えました。これから少し里親制度にも日が当たってくるのかなと期待しています。先週のテレビ放映もそうですね。

里親登録してから14年が経ち、その間30の子どもたちと関わってきましたが、血縁によらない子どもの養育をするということは乗り越えなければならぬ課題がいくつかあります。

まず途中から生活をともにするというので、子どもがそれまで生活していた家庭は、今急に崩壊してわけではなく、それまでさまざまな葛藤があったわけです。父親がいつも母親を暴力で支配していたり、本人も体罰や、心理的な虐待をうけていたり、ネグレクトで養育されていなかったりしています。まず私たち里親は、子どもを心から受け止め、ここが安心できる場所であることを言葉や態度で伝えます。そして、子どものもっている気質、能力などを、子どもの人格として受け止める事が大事です。関わってきて思うことは、どの子もそれぞれ違う背景をもって我家にくるので、こうした方がいいというモデルがないんです。みな手探り状態でした。

それから、実親との関係が、一番厄介ですね。乳児など年齢が低い子は、今育てている大人を親と思い、関係が深くなってきますので、実親からみると子どもを取られた気になるそうです。また里親も毎日生活していると本当に手放せなくなり、子どもとの距離のおき方が難しいですね。長期養育の子どもとは、しっかり親子として関わります。あと地域や学校、保育園などに、どう理解してもらおうかも大きな課題です。詳細を述べるわけにいきませんので、「事情があって今度

家にきた子です。よろしく願います」ぐらいに挨拶しますが、中には根ほり葉ほり聞いてくる方もいます。

小学5年生の非行歴のある子を預かったときは、もうすでに前の学校からその子の素行が全部書類で届けられていました。転校手続きに学校に行った時、校長先生に呼ばれて、かなり困っている、迷惑そうなお話に唾然として帰ってきました。でもその子は我家に10ヵ月いましたが、校長先生が心配されるよう問題は起こりませんでした。

私たち里親が、子どもを迎えるとき、子どもをありのまま受けとめると言いましたが、具体的にどうしているのかといいますと、子どもが落ち着くまでは叱らない、しつこく急がないことにしています。子どもたちはそれまでの家庭環境が悪いので、ほんとうはしつこくたくなることだらけですが、とり合えず好きにさせます。さきほどの5年生の子ども、ひどいものでした。歯は磨かないし顔も洗わない、お風呂も入ったり、入らなかったり、テレビは夜遅くまで見ているし、食事も好きなものしか手をださない。小遣いは3日ともたないので私の財布から抜き取っていく。すぐきれて暴れる、物は壊す。家の中では、落ち着きがなく、騒いだり暴れたりしましたが、学校ではおとなしいんですね。近所の方にも挨拶はきちんとできるし、いい子だねえとほめられていました。その子が半年もすると、家の外と中のギャップがだんだんなくなりました。お金の持ち出しもなくなり、小遣いが残るようになったんです。そうすると生活習慣もいわれなくてもやれるようになってきました。子どもを受け入れることの大事さを知りました。

また、小さい子は、退行現象として赤ちゃんがえりを起こします。それもすべて受け入れていくと、ベタベタの赤ちゃんになり、おんぶやだっこで一時も離れなくなります。実親の元でやってもらえなかったことを里親に要求するんですね。それも半年ぐらいで卒業し年齢相応の子どもになります。

血のつながらない子どもたちの人生の一こまに関わり、楽しませてもらっています。精神的に疲れたときは、同じ里親仲間にグチをきいてもらい、また聞く立場になったりして支えあいながら里親を続けています。子どもたちを育て、子どもたちから育ててもらいました。里親をはじめた頃よりはたくましくなり、少しは成長したと思っています。

里親をしているおかげでたくさんのお会いがあり、こういった場所で皆さんとお会いできるのも子どもたちのおかげです。

今日は、私の拙い話を、お聞きくださってほんとうにありがとうございました。

次回例会案内／11月26日（水）「言葉の力」～言葉が人に与える影響力～  
フリーランスMC 古澤 百恵氏